

## 子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力のお願い～

### 【ご協力のお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この度、「子ども・子育て関連3法」に基づき、新たな子ども・子育て支援の制度（次頁参照）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度にスタートする予定）。

本市においても、この法律に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、「幼児教育・保育・地域の子育て支援」の「今後の利用希望」を把握するため、子どもの保護者を対象として、「アンケート調査」を実施させていただきます。

この調査は小学校1年生から3年生を対象とし、クラスを無作為に抽出し、その保護者の方々に、ご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、子ども・子育て支援事業計画策定の検討に利用させていただくものであり、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用することはありません。

ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成25年12月

日進市長 萩野 幸三

- ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
  - 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
  - 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
  - ご記入いただいた調査票は、配布いたしました返信用封筒に入れて、  
12月16日（月）までに担当の先生へ、ご提出ください。
  - 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
- 【お問い合わせ】日進市 福祉部 児童課 子育て支援係 電話：（0561）73-1049（ダイヤルイン）  
Eメール：jido@city.nisshin.lg.jp

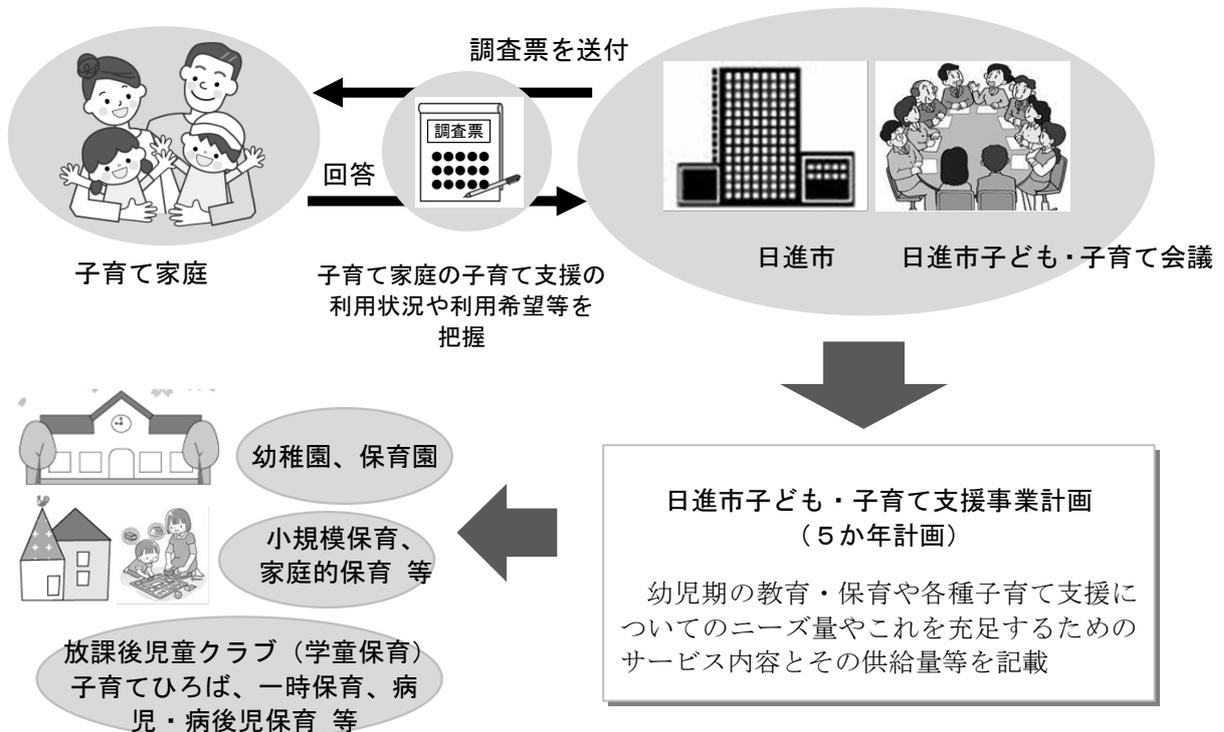
## ※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

## アンケート調査票に使われている用語の定義

- 子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育 : 家庭での教育を含めた広い意味で用いています

いただいたご回答は、地域の子育て支援の充実に生かされます。  
ぜひご回答いただきますよう、お願い申し上げます。



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                                             |            |            |
|-------------------------------------------------------------|------------|------------|
| 1. 西小学校区                                                    | 2. 東小学校区   | 3. 北小学校区   |
| 4. 南小学校区                                                    | 5. 相野山小学校区 | 6. 香久山小学校区 |
| 7. 梨の木小学校区                                                  | 8. 赤池小学校区  | 9. 竹の山小学校区 |
| 10. わからない (                      町                      丁目) |            |            |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(     ) 内に数字でご記入ください。

平成 (     ) 年 (     ) 月生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |                                 |
|-------|-------|---------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 (                      ) |
|-------|-------|---------------------------------|

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |                                 |         |
|----------|---------------------------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親                         | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 (                      ) |         |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } 【問6-1へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |           |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } 【問6-2へ】 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない ---▶ 【問7へ】               |           |

問6-1 問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である                           |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                      |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある                 |
| 6. その他 (                      )                     |

問6-2 問6で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ---▶ **【問7-1へ】**
2. いない／ない ---▶ **【問8へ】**

問7-1 問7で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                      |                  |         |
|----------------------|------------------|---------|
| 1. 祖父母等の親族           | 2. 友人や知人         | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO | 5. 保健所・保健センター    |         |
| 6. 学校の先生             | 7. 民生委員・児童委員     |         |
| 8. かかりつけの医師          | 9. 自治体の子育て関連担当窓口 |         |
| 10. その他 ( )          |                  |         |

### 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
  2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
  3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
  4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
  5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
  6. これまで就労したことがない
- } **【問10へ】**  
} **【問11へ】**

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                                     |          |
|-----------------------------------------------------|----------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、<br>育休・介護休業中ではない | } 【問10へ】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、<br>育休・介護休業中である |          |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、<br>育休・介護休業中ではない |          |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、<br>育休・介護休業中である |          |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない                            | } 【問11へ】 |
| 6. これまで就労したことがない                                    |          |

問10 問8または問9で「3.」、「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問11へお進みください。  
 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- |                                                   |
|---------------------------------------------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある  |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望              |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい          |

(2) 父親

- |                                                   |
|---------------------------------------------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある  |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望              |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい          |

問11 問8または問9で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。  
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）  
 内には数字でご記入ください。

(1) 母親

- |                                   |                                                                                      |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）       |                                                                                      |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい |                                                                                      |
| 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい            |                                                                                      |
| →希望する就労形態                         | }<br>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）<br>イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）<br>→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間 |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

宛名のお子さんの放課後児童クラブの利用についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ1週当たり日数を数字でご記入ください。

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 1. 自宅                       | 週（ ）日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅              | 週（ ）日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週（ ）日くらい |
| 4. 児童館 ※1                   | 週（ ）日くらい |
| 5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕           | 週（ ）日くらい |
| 6. 放課後子ども教室 ※2              | 週（ ）日くらい |
| 7. ファミリー・サポート・センター          | 週（ ）日くらい |
| 8. その他（公民館、公園など）            | 週（ ）日くらい |

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「5.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます

問 13 問 12 で「5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方におうかがいします。

現在利用している放課後児童クラブについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日当たり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）（18：00）のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり（ ）日

1日当たり（ ）時間（ ）：（ ）まで

(2) 希望

1週当たり（ ）日

1日当たり（ ）時間（ ）：（ ）まで



問 14-1 問 12 で放課後児童クラブを利用されていない方におうかがいします。

封筒の宛名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合は、( ) 内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)(18:00)のように 24 時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 利用したい	
1 週当たり ( ) 日      1 日当たり ( ) 時間      ( : ) まで	
「1.」を選 ばれた方⇒	土曜日の利用希望
	1. ある ⇒ 1 日当たり ( ) 時間 ( : ) まで
	2. ない
	日曜日・祝日の利用希望
	3. ある ⇒ 1 日当たり ( ) 時間 ( : ) まで
	4. ない
2. 今後も利用しない	

宛名のお子さんの病気の際の対応や、不定期な一時預かりについてうかがいます。

問 15 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかったことはありましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. あった ---▶ 【問 15-1 へ】                      2. なかった ---▶ 【問 16 へ】

問 15-1 問 15 で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。

宛名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も ( ) 内に数字でご記入ください (半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください)。

1 年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	( ) 日
2. 母親が休んだ	( ) 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	( ) 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	( ) 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	( ) 日
6. 民間の家事育児代行サービス等を利用した	( ) 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した (地域住民が子どもを預かる事業)	( ) 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( ) 日
9. その他 ( )	( ) 日

問 15-2 問 15-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒（ ）日  
 2. 利用したいとは思わない

問 16 この1年間に私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な就労などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか（子どもが病気の時の保育施設などの利用は除きます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数(年間)
1. あった	1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	( ) 日
	2 ファミリー・サポート・センターを利用した (地域住民が子どもを預かる事業)	( ) 日
	3 民間の家事育児代行サービス等を利用した	( ) 日
	4 その他 ( )	( ) 日
2. なかった		

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	( ) 泊
	2 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	( ) 泊
	3 民間の家事育児代行サービス等を利用した	( ) 泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	( ) 泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( ) 泊
	6 その他 ( )	( ) 泊
2. なかった		

